

- 問1 明治政府が北海道の開拓を進めるために設置した開拓使のもとで、1870年代から本格化した「屯田兵」制度の目的として最も適切な説明はどれですか。 (2019年 沖縄県公立入試 類似)
- ロシアに対する北方の警備と、未開地の開拓を同時に進めるため
 - 石炭などの地下資源を採掘し、重工業化のための官営工場を建設するため
 - アイヌの人々の伝統的な狩猟生活を保護し、文化を継承するため
 - 欧米諸国の農業技術を学ぶために、留学生を外国へ派遣するため
- 問2 近代日本の外交課題を記した資料において、1911年に外務大臣の小村寿太郎が欧米諸国との交渉によって実現させ、幕末以来の不平等条約を完全に改正することとなった権利を何というか。 (2026年 北海道公立入試 類似)
- 関税自主権
 - 治安維持法
 - 版籍奉還
 - 領事裁判権
- 問3 明治時代の日本の産業発展に伴う貿易品目の推移について、1880年代と1900年代の状態を比較した記述として最も適切なものを選択してください。 (2026年 岡山県公立入試 類似)
- 輸入の大部分を砂糖が占めるようになり、国内の紡績工場はすべて閉鎖に追い込まれた
 - 機械化による技術向上で綿花の国内生産が急増し、綿花そのものが主要な輸出項目となった
 - 輸入の主力は綿糸から原料の綿花へと変わり、綿糸や綿織物は輸出されるようになった
 - 海外から安い綿花を輸入して加工し、生糸として欧米諸国に輸出する体制が整った
- 問4 明治時代、日露戦争の激戦地である旅順の包囲軍に加わっていた弟を思い、雑誌『明星』に「あゝをとつとよ、君を泣く、君死にたまふことなかれ」という詩を発表し、個人の生命の尊さを訴えた人物は誰ですか。 (2017年 三重県公立入試 類似)
- 津田梅子
 - 平塚らいてう
 - 樋口一葉
 - 与謝野晶子
- 問5 1872年に新橋・横浜間で鉄道が開通した頃、明治政府は欧米の先進技術を取り入れて産業を育成する「殖産興業」の政策を進めました。その一環として、高品質な生糸を生産し輸出を拡大するために群馬県に設立された、官営模範工場の名称として正しいものはどれですか。 (2023年 岡山県公立入試 類似)
- 足尾銅山
 - 富岡製糸場
 - 八幡製鉄所
 - 長崎造船所
- 問6 19世紀後半から20世紀前半にかけての日英関係の変遷を示す出来事について、古いものから順に正しく並んでいるものはどれですか。 (2017年 埼玉県公立入試 類似)
- 日英同盟の締結 → ノルマントン号事件 → 領事裁判権の撤廃 → ロンドン海軍軍縮会議への参加
 - ノルマントン号事件 → 領事裁判権の撤廃 → 日英同盟の締結 → ロンドン海軍軍縮会議への参加
 - 領事裁判権の撤廃 → ノルマントン号事件 → 日英同盟の締結 → ロンドン海軍軍縮会議への参加
 - ノルマントン号事件 → 日英同盟の締結 → 領事裁判権の撤廃 → ロンドン海軍軍縮会議への参加
- 問7 奈良時代の国際交流を象徴する、聖武天皇ゆかりの宝物を収めた正倉院とその背景に関する説明として、最も適切なものはどれですか。 (2024年 茨城県公立入試 類似)
- ベルシャヤインド、中国の文化がシルクロードを経て伝わり、国際色豊かな天平文化が開花したことを示している。
 - 平氏が日宋貿易で得た宋銭や磁器を、国家の安泰を願って東大寺の蔵に奉納したものである。
 - イギリスの産業革命の影響を受けて輸入された、初期の紡績機や蒸気機関の模型が納められている。
 - ポルトガル人やスペイン人との南蛮貿易によってもたらされた、ヨーロッパ製のガラス器や時計が数多く保管されている。
- 問8 明治政府が推し進めた「殖産興業」の政策において、群馬県に富岡製糸場を設立した主な目的として、当時の貿易状況をふまえた説明として最も適切なものはどれですか。 (2022年 鳥取県公立入試 類似)
- 軍事力を強化するために必要な鉄鋼を国内で自給自足し、重工業の基盤を築くため。
 - 欧米から輸入される安価な綿製品に対抗するため、国内の綿織物業を保護し維持するため
 - 当時、日本の輸出総額の多くを占めていた生糸の品質を向上させ、外貨を獲得するため。
 - 鉱山開発に伴って発生していた足尾銅山などの鉱毒問題を解決するための技術を研究するため。
- 問9 1881年に明治政府が「国会開設の勅諭」を出したことを受け、将来の国会開設に備えて結成された、日本最初の政党の名称とその党首となった人物の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2022年 岩手県公立入試 類似)
- 自由党：板垣退助
 - 立憲帝政党：福地源一郎
 - 立憲改進黨：大隈重信
 - 憲政党：大久保利通
- 問10 三国干渉が起こった背景と、その後の日本国内の動向についての説明として、最も適切なものはどれですか。 (2026年 奈良県公立入試 類似)
- アメリカが東アジアの門戸開放を求めて3カ国を主導した。日本はイギリスの軍事支援を期待して要求を拒否し、即座にロシアとの戦争を開始した。
 - ロシアは自国の南下政策を有利に進めるため日本に圧力をかけた。日本国内ではこの屈辱を忘れぬよう「臥薪嘗胆」を合言葉にロシアへの対抗心を強めた。
 - フランスが日本と清の仲裁を行い、遼東半島の返還と引き換えに多額の追加賠償金を得るよう助言した。これにより日本の財政は急速に潤った。
 - ドイツが清の領土保全を強く訴えたことで国際世論が日本に厳しくなった。日本はこれを受け入れ、ロシアとの協調外交を最優先するようになった。
- 問11 明治時代、欧米の思想や文化を積極的に紹介し、近代的な啓蒙思想を広めた人物は誰ですか。著書『学問のすゝめ』では、個人の独立の大切さを説きました。 (2025年 福岡県公立入試 類似)
- 芥川龍之介
 - 平塚らいてう
 - 福沢諭吉
 - 夏目漱石
- 問12 明治政府が派遣した岩倉使節団には、幼少期の津田梅子を含む数名の女子留学生が同行していました。当時の政府が、多額の費用をかけて女子留学生を欧米へ派遣した背景や、その後の津田梅子の活動目的として最も適切な説明はどれですか。 (2026年 奈良県公立入試 類似)
- キリスト教の布教を制限する代わりに、女子教育については教会の教育方針を全面的に取り入れるよう政府が決定したから。
 - 欧米の進んだ文明を吸収して日本の近代化を進めるため、次代を担う女性にも高い教養や自立した精神が必要だと考えたから。
 - 富国強兵政策の一環として、製糸工場などで働く女性労働者に最新の機械操作を教える指導者を育成しようとしたから。
 - 不平等条約の改正交渉を有利に進めるため、外国の要人と対等に社交ができる女性通訳を大量に養成する必要があったから。
- 問13 19世紀後半の国際情勢において、1871年にプロイセンを中心として成立したヨーロッパの統一国家を何といいますか。日本の岩倉使節団が欧米諸国を巡っていた時期と重なる出来事として答えなさい。 (2024年 山口県公立入試 類似)
- オーストリア・ハンガリー帝国
 - ドイツ帝国
 - イタリア王国
 - ロシア帝国

答え合わせ・解説

問1	答え 1 ロシアに対する北方の警備と、未開地の開拓を同時に進めるため	明治政府はロシアの南下政策を警戒し、北方の守りを固める必要がありました。同時に、広大な土地の農業開発を推進するため、土族を中心とした移住者に土地を与え、平時は農業に従事させ、有事には兵士として活動させる屯田兵の制度を設けました。この過程でアイヌの人々は土地を奪われ、伝統的な生活を制限されることとなりました。
問2	答え 1 関税自主権	明治政府にとって、幕末に結ばれた不平等条約の改正は長年の悲願でした。1894年に陸奥宗光が領事裁判権（治外法権）の撤廃に成功した後、1911年に小村寿太郎がこの権利を回復させたことで、条約改正が全て完了しました。これにより日本は、輸入品にかかる税率を自国で自由に決定できるようになりました。
問3	答え 3 輸入の主力は綿糸から原料の綿花へと変わり、綿糸や綿織物は輸出されるようになった	日清戦争前後の時期、日本は軽工業を中心とした産業革命を迎えました。1885年当時は工業化が未発達で、加工済みの「綿糸」を輸入していましたが、紡績技術の向上と工場の拡大により、1907年の統計では原料の「綿花」を輸入して自国で製品を作る体制に変わっていることが読み取れます。これにより、日本の貿易構造は工業製品を輸出する近代的な形へと進化しました。なお、当時輸出の主力であったのは生糸（絹の原料）であり、綿花を輸入して生糸を作ることはありません。
問4	答え 4 与謝野晶子	日露戦争の最中、軍国主義的な風潮が強まる社会において、与謝野晶子は出征した弟の身を案じ、家族の情愛や生命の尊厳を真っ向から表現しました。この詩は当時の社会に大きな衝撃を与え、論争を巻き起こしました。樋口一葉は「たけくらべ」などで知られる小説家、平塚らいてうは「青鞥」を創刊した女性解放運動家です。
問5	答え 2 富岡製糸場	明治政府は、欧米列強に対抗できる経済力をつけるため、近代的な産業を育てる「殖産興業」を推進しました。その中で、当時の日本の主要な輸出商品であった生糸の品質向上と増産を目指し、フランスの技術を導入したモデル工場として、群馬県に富岡製糸場が建設されました。八幡製鉄所は、のちの日清戦争後に北九州に建設された鉄鋼工場であり、混同しないよう注意が必要です。
問6	答え 2 ノルマントン号事件 → 領事裁判権の撤廃 → 日英同盟の締結 → ロンドン海軍軍縮会議への参加	まず1886年に不平等条約の弊害を示すノルマントン号事件が起き、それを克服する形で1894年に領事裁判権の撤廃が実現しました。その後、1902年には南下を続けるロシアに対抗するために日英同盟が結ばれ、さらに時代が進んだ1930年（昭和時代）には、国際協調の実をあげるためロンドン海軍軍縮会議で補助艦の保有量を制限することに合意しました。条約改正、軍事同盟、国際協調（軍縮）という流れを把握することが重要です。
問7	答え 1 ペルシャやインド、中国の文化がシルクロードを経て伝わり、国際色豊かな天平文化が花開いたことを示している。	奈良時代は唐の文化を積極的に取り入れた時代であり、遣唐使などを通じて、唐のみならずその先の西アジア（ペルシャ）やインドの文物が日本に到達しました。これらの品々は「シルクロードの終着点」とも呼ばれる正倉院に収められ、当時の日本が極めて国際的な交流の中にあったことを今日に伝えています。聖武天皇は仏教による国家の安定を目指し、東大寺を建立したことで知られています。
問8	答え 3 当時、日本の輸出総額の多くを占めていた生糸の品質を向上させ、外貨を獲得するため。	明治初期の日本において、生糸は最大の輸出アイテムでした。政府は外貨を獲得して国力を高めるため、フランスの技術を取り入れた官営模範工場である富岡製糸場を設立しました。これにより、機械を用いた高品質な生糸の大量生産を可能にし、日本の近代化を支える財源を確保しようしました。八幡製鉄所は重工業（鉄鋼）、足尾銅山は鉱毒問題に関連するものであり、設立の背景が異なります。
問9	答え 1 自由党：板垣退助	明治十四年の政変を経て、政府が10年後の国会開設を約束すると、自由民権運動の指導者たちは政党の結成に動き出しました。土佐藩出身の板垣退助は、フランス流の急進的な自由主義・民主主義を掲げる「自由党」を組織し、土族や豪農、農民など幅広い層の支持を集めました。一方、大隈重信が翌年に結成したのはイギリス流の穏健な改革をめざす立憲改進党です。
問10	答え 2 ロシアは自国の南下政策を有利に進めるため日本に圧力をかけた。日本国内ではこの屈辱を忘れぬよう「臥薪嘗胆」を合言葉にロシアへの対抗心を強めた。	ロシアは不凍港を求めて南下政策を推進しており、遼東半島を日本が領有することを強く警戒してドイツ・フランスを誘い干渉を行いました。当時の日本には列強3カ国を相手に戦う力はなかったため要求を飲みましたが、国民の間ではロシアに対する強い反感が生じ、「臥薪嘗胆（がしんしょうたん）」をスローガンに軍備拡張が進められ、のちの日露戦争へとつながる要因となりました。
問11	答え 3 福沢諭吉	明治維新後の日本において、西洋の自由や平等の考え方を紹介した思想家です。慶應義塾の創設者としても知られ、封建的な身分制度にとらわれず、実社会で役立つ知識（実学）を学ぶことが、個人の自立や国の近代化に不可欠であると説きました。
問12	答え 2 欧米の進んだ文明を吸収して日本の近代化を進めるため、次代を担う女性にも高い教養や自立した精神が必要だと考えたから。	岩倉使節団の主な目的は、不平等条約の改正に向けた予備交渉と、欧米の先進的な制度・文化の視察でした。政府は日本の近代化を推し進める上で、家庭教育を担う女性の教育も不可欠であると判断し、女子留学生を派遣しました。津田梅子は自身の留学経験をもとに、単なる知識の習得だけでなく、国際的視野を持ち自立して社会に貢献できる女性の育成を目指して教育活動を行いました。
問13	答え 2 ドイツ帝国	1871年、プロイセン王を皇帝とするドイツ帝国が成立しました。これは、日本で明治政府が廃藩置県を行い、岩倉具視を代表とする使節団を欧米へ派遣した年と同じです。当時の日本は、急速に近代化を成し遂げたドイツ（プロイセン）の国家体制を強く意識していました。